



# ゾラ! Zora!



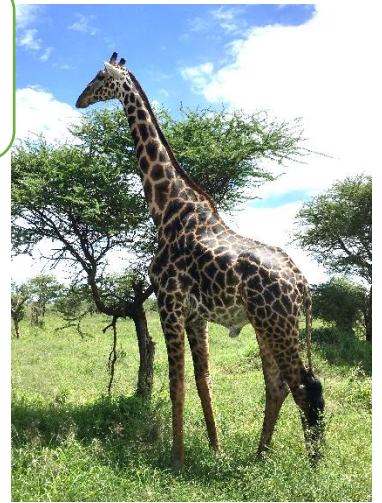
ナミビアだより  
第 16 号  
2019.1.14  
おおしま ふうか  
大島 風花



あけましておめでとうございます。お正月はどんな風に過ごしましたか？  
私はタンザニアという国にあるアフリカで 1番高い山、キリマンジャロに登って  
いました。左の写真はそのキリマンジャロの山から見た初日の出の様子で  
す。キリマンジャロのてっぺんは5895メートルととても高いので、雲よりも  
高いところを歩いて登ります。とても寒いので雪があります。とてもしんど  
かったです。友達と助け合いながら登ったことは忘れられない思い出になり  
ました。今年もいろいろなことに挑戦して、すてきな1年にしましょう。

## タンザニアのサファリは「ライオンキング」の世界！

数えきれないほどた  
くさんの動物が！そ  
こは自然の動物園！



## ナミビアといえば、ココ！～ナミフサぼく～

12月のお休みの時期には、ナミビアの国名の由来にも  
なっている、ナミブ砂漠に行ってきました。「ナミブ」  
というのは、ナミビアの民族の言葉で「何もない」と  
いう意味です。その名の通り、砂丘と呼ばれる砂の山  
だけがどこまでも広がっていて、自然の力強さを感じ  
ました。右は「デューン45」という有名な砂丘。砂の山  
は見た目よりも登るのがとっても大変です！



左は、「デッドフレイ」と呼ばれ、「死んだ沼」という意  
味。昔はここに水があったようですが、それが干上  
がって、白い石灰(チョークのようなもの)が残りました。  
水がないので木は死んでしまいましたが、あまりにも  
空気がかんそうしているので、木がくさらずにそのま  
ま残っています。雪があったり動物がいたり砂漠があ  
ったり、アフリカって美しいと思いませんか？ バァー！